

令和3（2021）年度 部局マネジメント方針

消防局総務部長

やまぐち たかよし
山口 隆義



私の決意（仕事に対する基本姿勢及び部局の取り組み方針）

市民の皆様は「消防」という言葉から連想されるイメージは、強靱、屈強、災害対応部隊というイメージがあるかと思いますが、消防局の部署にはそのイメージとは少し異なる部署もあります。消防局総務部では、消防業務の施策に係る企画・立案をはじめ、消防職員の人事・教養、消防予算や消防施設等の管理等を行い、局是である「市民生活の安全確保」の目標達成に向けて日々業務に励んでおります。

近年、日本各地において地震や台風、集中豪雨等の災害が発生しており、その発生状況は、頻発化、甚大化していることから、これらの災害に対応できる強固な消防を維持するため、消防施設、消防車両等のハード面の整備推進、そして、消防教育機関への派遣による人材育成等のソフト面を充実させ、消防局総務部として消防力の強化に取り組んでおります。

一方で、今日の社会情勢は、超高齢社会の進展、人口減少社会への対応等により、消防行政も時代とともに変化しつつあり、時代に即した事務の見直しを図り、持続可能な消防体制の構築が求められております。

これらのことを踏まえ、消防局総務部では、令和3年度の重点施策として「消防体制の充実強化」、「消防団の充実強化」、「人材育成の推進」を掲げ、各種施策を積極的に推進し、更なる消防体制の強化に取り組むとともに、市民サービスの向上に努めてまいります。

そして、未だ収束の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症への対応については、さらに感染力が強いとされる変異株による感染事例が確認されるなど、予断を許さない状況となっておりますが、この難局を乗り越えていくためには、職員が万全の感染防止を図りながら職務に精励することはもとより、保健所を含めた関係機関との更なる連携の強化が不可欠となります。全国的にはオンライン化が推奨されてはおりますが、心の距離だけは近くに置き、有事の際には迅速に手を取り合えるような本当の意味での「顔の見える関係づくり」の構築を図り、警防部とともに消防局として万全を期してまいりたいと考えております。

最後に、消防局総務部としてSDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」の達成に向け、柔軟かつ強靱な消防組織体制の構築をめざすとともに、地域防災の担い手でありまます消防団員と一致団結し、職務に邁進することを誓い、私の決意といたします。